

貴船川流域の個体を元にした「雲ヶ畑」の絶滅危惧種を栽培している



貴船川由来

生息珍しく

川辺に生え、草丈が

1・4 尺ほどになるタ

デ科の多年草。植物学

者の牧野富太郎博士が

貴船川流域の個体を元

に命名したため、この

和名がある。花は小さ

く地味で園芸的な魅力

には欠けるが、国内で

は京都と広島・岡山の

県境にのみ分布する珍

しい植物である。京都

では雲ヶ畑、清滝の川

沿いにも自生している。光発芽性を有する種子は、河川の氾濫などで地表に現れた時に発芽する。

近年はシカの食害や

外来種エゾノギシギシ

との遺伝子交雑によ

り、絶滅が懸念されて

いる。当園では京都大

などと協力して生息域

外保全に取り組む。ま

た、雲ヶ畑で保全活動

が行われている。絶滅

危惧種園にて見頃は5

月下旬まで。

(京都府立植物園)